

theme 2 さまざまな体験を通して「気づき」や「成長」にー。 “小中学校、高校、保育所の取り組み”

【根雨小学校】

総合的な学習や道徳をはじめ、各教科での学びや行事、友達との関わりを通して、学校や学級の中で一人一人の存在や思いが尊重されるように取り組んでいます。

●交流学習

6年生は、黒坂小学校と合同人権学習を行いました。下榎隣保館にて、解放文化祭の展示作品を観賞したり、人権学習で学んできたことを発表しました。

また、黒坂小の6年生と、「世の中にある、あつてもいい違いとあつてはいけないう違い」について考えました。グループごとに意見を交換し、人権の大切さについてより深く考えることができました。

●各学年での取り組み

6年生は、総合的な学習で、下榎隣保館の矢田貝館長を招き、日野町の人権に対する取り組みについて学びました。また、人権学習では「人権とは何か」について学び、人権課題について調べたことをまとめ、解

放文化祭で展示しました。

5年生は、道徳の学習で具体的な生活に関わる事例を通して、あいさつや礼儀はなぜ大切なのかを考えたり、個人や集団が安心・安全に生活するためにはどうしたらよいか考える学習に取り組んでいます。

4年生は、総合的な学習で福祉について学習をしています。高齢者疑似体験や車いす体験を通して、誰もが暮らしやすい社会をつくるため自分に何ができるのか考えながら学習に取り組んでいます。

3年生は、道徳の学習を中心に、相手の気持ちを考え行動すること、よい行動をするためにちよつとした勇気をもつことが大切であること、友達との間に力関係ができることは理不尽であることに気づけるような学習を行っています。

2年生は、規則正しい生活について考える学習を行いました。自分のことを自分できちんと行い、規則正しい生活を身につける意欲

をもつことができるようにしています。

1年生は、生活科でひのつこ保育所の年長児と交流したり、学校まわりを探検したりする学習を行いました。人と人との関わりなどについて、異なる学年の児童や地域の人と実際に関わりながら、楽しく学習を深めています。

また、4～6年生は車いすバスケットボール体験をしました。体験を通し、パラスポーツがあることで、障がいがあつてもスポーツを通して人生の生きがいややりがいを見出せる、と気づくことができました。

●学力の向上

朝読書や読み聞かせ、発表集会、朝の音読（毎週木曜日）、自学の時間（毎週火曜日）など、業間や放課後を活用して個々の学力を伸ばす取り組みを行なっています。

また、毎月漢字・計算を中心に全学年で確認のテストを行っています。間違えても、見直しをしたり再度



▲車いすバスケットを体験する児童

テストに取り組んだりすることで、基礎学力の定着と粘り強く課題に向き合う態度の育成を図っています。

●人権教育参観日

毎年2月に人権教育参観日を実施し、各学年で年間指導計画・各学年の実態に合わせた人権に関わる学習を行う予定です。

人権に関して子どもたちが学ぶ様子を保護者の皆さんに見ていただいたり、人権に関わる講演会を実施することで、保護者の皆さんにも人権に対する理解を深める場になることを期待しています。

【黒坂小学校】

いろいろな人との出会いを通して、さまざまな人権問題や生き方について考え



▲相手を思いやり伝え方を学習した手話学習

る取り組みを行っています。

●手話学習

「手話教室」では、手話ボランティアの方を講師として招き、全校児童が手話について学習しました。

今年度で黒坂小学校は閉校するため、長年歌い続けた校歌に手話を付けていただきました。そして、昨年学んだ「ふるさと」と、今年学んだ「校歌」を学習発表会で発表しました。ふるさとや学校に対する思いが伝わるよう努力しました。

●人権教育参観日

人権教育参観日では、全学級が人権に関わる授業を公開し、日ごろの人権教育の様子を保護者の皆さんに見ていただきました。

5、6年生では、ミオ・



▲人権教育参観日の様子



▲学年弁論大会1年生の様子

フアティリティクリニク
の葉山看護師に「いのちとからだの話」をテーマに講演を行っていただきました。思春期にさしかかっている高学年の児童に、自分の体を肯定的に捉えることができるようなお話を聞いて、学習を深めました。

●PTA研修会

PTA研修会でも、葉山看護師に「子どもと話そういのちの話」というテーマで講演を行っていただきました。医療現場のリアリティの中で、専門知識を駆使して日々奮闘されている方のお話を聞き、子どもたちの「今」と「これから」を共に考えました。

●学力の向上

一人一人の児童が主体的

に学習に取り組むことで確かな学力を身に付けられるよう、授業改善と家庭学習の充実を図っています。

特に、授業では自分の考えを自分の言葉で表現できる子ども、友達との関わり合いを通して考えを深めていく集団づくりを目指しています。

●総合的な学習の時間

6年生は、総合的な学習の時間に「差別のない社会へ」というテーマで調べ学習を進め、正しい知識の習得と、差別に負けない・差別をしない・差別を許さない態度の育成を目指しています。

【日野中学校】

●人権弁論大会

毎年、夏休みの宿題として人権作文を書き、その中から選出して人権作文コン

クールに応募しています。

また、書いた作文をもとに生徒全員が人権について自分が思うことをまとめ、10月中旬～下旬に学年ごとに人権弁論を行いました。各学年で一人一人が発表した後、それぞれが感想や意見を出し合い、人権についての考えを深めました。

人権弁論の取り組みは、

生徒自身の人権意識を高めると共に、ほかの生徒が人権についてどんなことを考えているのかを知ることと、学級内の人間関係の質的向上を図る良い機会になっています。

また、10月29日に町文化センターで行った文化祭では、各学年代表が一人ずつ、人の心の弱さと差別について思うことや、SNSと自分なりの付き合い方について、そして自分の名前の由来から人を尊重することの大切さについて考える人権弁論を発表しました。

さらに11月11日に行われ

た日野郡中学校総合文化祭では、学校代表の生徒が人権弁論発表を行いました。●文化祭の学年発表における取り組み

毎年、学年ごとにさまざまなテーマで学年発表に取り組んでいます。

脚本の内容を特に人権にテーマを絞るわけではありませんが、さまざまなキャラクターを演じ表現することで、お互いの関わり合いを深め、新たな良さを発見する取り組みになっています。

今年度は、1年生は学級

内でのいじめを題材に、乗り越える強さを表現する劇を発表し、2年生は、SNS社会の危うさをコミカルな形で表現し、どう考えたらいいのを見る人に問う劇を行いました。

3年生は、学校統合で廃校直前のある小学校を舞台に、一人の転入生の言動を契機に児童たちの心情が大きく成長していく感動的な劇を行いました。

現行の学習指導要領では

「道徳」が「特別の教科道徳」に替わり、その指導のあり方についてさまざまな実践が行われています。本校の文化祭は「表現して協力して学ぶ実践的道徳の授業」といえるものだと思います。●榎の実学習会における取

り組み

今年度は5月10日に開講式が行われ、6月21日には、セルプひの方を招いて木工教室を行いました。

また、人権学習はLGBTの方たちを取り巻く人権問題について実際に起きた差別事案を検証し、その差別構造について学んでいます。

例年は、秋の解放文化祭

に向けて人権学習の研究発表を行う予定で学習を進めますが、解放文化祭ステージ部門が中止になったため、ここまでの人権学習の内容を展示しました。

来年2月の閉講式での発表に向けて、さらに学習を重ねていきます。

【ひの保育所】

ひのつこ保育所では、「自分らしく生き抜く力をつちかう」を保育理念としています。子どもたちがさまざまな経験や人との関わりを通じて自己を発揮し、「毎日が楽しい」と感じられる保育、また、混沌とした現代社会の中でたくましく生きていく力の基礎となる「自己肯定感」を、子どもたち一人一人が持てるような保育を目指しています。